

## 第5回 岡崎市住宅マスタープラン策定委員会 議事録

### 1 開催日時

平成21年12月24日(月)午後2時00分～4時00分

### 2 開催場所

岡崎市役所西庁舎3階第1・第2委員会室

### 3 住宅マスタープラン策定委員

#### (1) 出席者

委員長	小川	英明	愛知産業大学大学院 教授
副委員長	藪谷	あや子	人間環境大学 教授
委員	石川	達典	社団法人愛知県建築士事務所協会 岡崎支部長
委員	長坂	宏子	愛知県土地家屋調査士会 岡崎支部長
委員	杉山	信平	岡崎市社会福祉協議会長
委員	石井	美紀	市民公募
委員	小杉	学	市民公募
委員	廣瀬	共	市民公募
委員	森谷	浩生	市民公募
委員代理	永井	謙二	愛知県建設部建築担当局住宅計画課主任主査

#### (2) 欠席者

委員	舟橋	均	愛知県建設部建築担当局住宅計画課長
----	----	---	-------------------

### 4 事務局

#### (1) 出席者

都市整備部長	小林	健吾
都市整備部次長	矢頭	健
都市整備部市営住宅課長	越山	保男
都市整備部市営住宅課総務企画班班長	多田	康弘
都市整備部市営住宅課総務企画班主任主査	杉浦	明日香
都市整備部市営住宅課総務企画班主事	大久保	雅史

5 傍聴者

なし

4 会議次第

1 都市整備部長あいさつ

2 委員長あいさつ

3 議事

(1) パブリックコメントについて

(2) 住宅マスタープラン案について

(3) その他

4 その他

5 閉会のあいさつ

5 会議資料

0 岡崎市住宅マスタープラン策定スケジュール

1 岡崎市住宅マスタープラン

2 岡崎市住宅マスタープラン（素案）に対する意見と市の考え方

3 第4回岡崎市住宅マスタープラン策定委員会 議事録

4 第4回策定委員会意見とその対応

## 6 会議内容

### (1) 都市整備部長あいさつ

- 【部長】 委員の皆様には年末のお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。今週に入りましてやっと民主党の公約でありました子ども手当の予算の補正が出されましたけれども、一方住宅に目を移しますと、着工件数では全国的にみて昨年より3割を超える落ち込みということで、環境は非常に厳しい状況でございます。そんな中、政府も住宅エコポイント制度の創設や贈与税 1500 万までの減免など進めております。
- さて、本日は先に行いましたパブリックコメントの結果をふまえて、ご意見を承りたいと思いますので、よろしくお願いします。

### (2) 委員長あいさつ

- 【委員長】 皆様こんにちは。年末のお忙しい、しかもクリスマスイブの日に全員が一人も休むことなくご出席いただきましてありがとうございます。ご検討いただきましたマスタープランについてパブリックコメントをさせていただき、いくつかの意見をふまえてそれらへの対応を行い、さらにマスタープランをブラッシュアップするという5回目の会議ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

### (3) 会議の成立と議事の進行について

- 【事務局】 本日は、舟橋様の代理で永井様が出席されております。そのほかの方は出席されておりますので、設置要綱第7条第2項により、本会議が成立していることを報告いたします。
- 次にお手元の資料を確認いたします。次第のほか、名簿、配席も合わせて資料 0 のスケジュール、資料 1 住宅マスタープランの最新版となっています。資料 2 住宅マスタープラン(素案)に対する意見と市の考え方でパブリックコメントについてまとめています。資料 3 第4回策定委員会議事録、資料 4 第4回策定委員会の意見とその対応、の5つの資料をご用意しております。本日の進行予定であります。パブリックコメントの案について、主に検討していただきます。会議時間は、概ね2時間を予定しています。
- これより先は、要綱第6条第3項により小川委員長に議事を進めていただきます。それでは小川委員長お願いします。

### (4) 議事

#### パブリックコメントについて

- 【委員長】 事務局より、最初の議題であるパブリックコメントについて、ご説明をお願いします。
- 【事務局】 資料No.2をご覧ください。住宅マスタープラン(素案)に対して、11月4日~12月3日にパブリックコメントを行いました。方法は、市営住宅課、市政情報コーナ

ーでの閲覧、インターネットのホームページにより意見を募集いたしました。この結果9人17件の意見がありました。11ページにわたり、意見をほぼそのまま掲載させていただいております。

- 【委員長】 ありがとうございます。市の考え方について、何か意見がございますか。
- 【委員】 6番の質問の内容で、省エネなどについて入っているが、省エネの中にはバリアフリー化だとか特定の対象世帯、一般家庭等について例えば太陽熱発電、太陽光発電、ソーラー発電などには、いま国が補助金を出しているわけですが、市は上乘せ補助を現在やっているのかやっていないのか。また将来検討する余地があるのかどうか。
- 【事務局】 一番は財源の問題があるというのと、普及促進のため補助金を出すという考え方で今まではやっています。環境担当部局の方の利用計画をつかめていないので、普及促進について補助を出すというのはなかなか難しい状態なので、あまりこういうところで謳っているのかどうかというのがあります。大略の方向性だけは示しているつもりですが、例えば基本方針の1の中で地球環境の負荷をかけない優しい住まいづくりと入れているが具体的な意見ではないです。
- 【委員】 将来的には省エネに対して市の取り組みの姿勢は具体的にどう考えているのか。そういうことが環境面の仕事に繋がっていくように思うが。
- 【事務局】 現状であれば環境を考慮していく状況にあると思います。例えばソーラーなど、今後の可能性はありますけれども、ご意見として検討してみたいと思います。
- 【委員】 いまの補助金のことですが、29ページに書いてあると思いますが、現在、岡崎市では太陽光発電は1kw確か2万円の補助がでていませんでしたか。エコキュートも今は2万円ですね。前は4万円だったのが今年度から2万円に値下がりしたので。例えば太陽光発電が安城市だと10万円の補助があり、豊橋市だと8万円の補助だと思います。1kwあたり10万円の補助プラス国の7万円の補助。17万円もらうとランニングコストを計算すると10年以下で、10年あれば完全にペイできるんですね。そうするとやろうかということであつと人が動き出すので、やるのであれば10万円とか豊橋市並の8万円ぐらいいただければありがたい。
- マスタープランのパブリックコメントを議論し始めてしまうと、もう一度最初から話を進めないといけないと思うが、どうでしょうか。最初に戻ってこれがあるのかいないのか、そういう議論をまたするのでしょうか。
- 【委員】 質問したのは6番の内容等について、裏づけとか対応策があればということである。それを踏まえて質問した人に回答を、ということであつて、それ以上のことを言っているわけではありません。
- 【事務局】 元々意見をされた方は、都市計画のマスタープランのパブリックコメントのことも知らなかったという段階で住宅マスタープランの意見を言っていたので、元々のパブリックコメント自体のことからスタートされているので、このような住宅マスタープランが必要か不必要か、またパブリックコメントが必要かどのようにしてほしいとかの希望が出されているが、住宅マスタープランの部分の、パブリックコメントとして受けるべき所は住宅マスタープランの意義という話になると策定委員会がなんだということになり、その辺はこれを策定するというPRが足りなかったということをお詫びするしかないと思います。

パブリックコメント制度そのものとしてはパブリックコメント制度の中でできることとそのフォローは制度上考えていかなければならないと思う。これも住宅マスタープラン自体に影響を及ぼすものではないと考えておりますので、住宅マスタープランにかかわる部分は審議の対象になるかと思うが、それ以外の制度的なことについては制度の担当にお話させていただきながら、本人さんには岡崎市の考え方として出したいと思っております。

【委員長】

そのほかいかがでしょうか。

【委員】

2番の質問について、住宅マスタープランは不要ではないかという残念な質問があるところですが、2番はマスタープランを岡崎市の市営住宅に限ったら良いのではという意見であるが、市の方で市営住宅の活用計画、長寿命計画は作られますよね。

【事務局】

2ページをみていただきますと計画の位置づけというのがありまして、初回の際に住宅マスタープランを策定するにあたり説明をさせていただいていましたが、その時は長寿命化計画が具体的には出ていなかったもので、住宅マスタープランの策定に伴って、市営住宅のストック総合活用計画については、以前に作られているものを見直し、策定していきます。ただしこれは市営住宅に限ったことであるので、住宅マスタープランの中ではその市営住宅部門は別に計画をつくるとお話をさせていただいており、特に策定委員会の中で審議していただくことはしておりません。

その中で先ほど長寿命化計画が必要であるということで、総合活用計画を長寿命化計画に該当するように内容を充実して作っていくので、住宅マスタープランは、当然市営住宅のことも含みますが、あくまでも住生活に関する基本的な計画を進めさせていただいておりますので、その辺は1番を最後の所に登録も日付を見られて質問をされておりその質問に対してカットはしています。

2番3番の質問をされた方は意見を出されていないので、その辺は付け加えたいと思います。

【委員】

わかりました。

【委員】

パブリックコメントはすごく誠実に書いていただけてありがたいです。中には承るべきこととして、情報発信ということはなるほどそのとおりだなと思います。例えば、シンポジウムとかはもう少しイメージが浮かぶような形で、ここに書かれたようにいろんな定義を持っている方が自由にお話しする場みたいな形で受け止めて行けたらと思います。どうしても行政の計画書はとても硬くて、どこからとりかかっているのか。パブコメをみていますと専門家の方が中心となって書いておられるが、実際には住宅はさまざまなニーズがさまざまな地域でそれぞれあると思うので、住宅の話をするだけでも楽しいのではという、そんな経験が共有できたら広まっていくのではないかと思います。これが公聴会とか普及会ではなく、これに基づいた人間の口を通して翻訳するような形の試みも連続してすることが必要ではないかと、パブコメを見ながら思いました。その中で、住思想とか書かれているが、人間の言葉から出ると住宅は人間が発達する、暮らす器ということも分かりますし、書き言葉になると硬いけれども、思いということによって表現できる、そういう試みが必要ではないかと思いました。もうひとつ思うのは、一体、誰が担って誰が進めていくのかということという話になりますが、先ほどエコ補助金の部分はかなり呼び水になると思います。

数年前でしたら環境に関心のある人ばかりでしたが、今は物を大事にしたいとか、住まい方が多様になってきていて、できるところからやっていこう、それはお財布にも優しいということで結構広まってきていると思う。いろいろなことが書かれているが、広まらないと意味が無い所があるので、そういう意味でも一体、誰が受け止めるのか、市民の方、住宅を欲しておられる方、JRの近くに欲しいとおっしゃる方がいるが、再開発が言われつつもあまり進捗していない。そういう意味でいろんな所につないでいけると思う。これを基にして共有できる場ができればこの意味がかなり果たすことになると思う。

【委員】 今の話の続きですが、パプコメの11番と12番が非常に興味深かった。住宅マスタープランの中身はいいと思う。これが不必要なのではないかということが、1番あたりにも書いてありました。このあとどのように展開していくかに対してのアイデアについて、マスタープランの中に一つ一つ施策が書いてありますが、それと同時にこれがどのように展開していくかを、理想の展開図、理想のプロセスのようなものが書いてあっても良いのではと思った。住マスがどのように機能していくかということ。これがあることにより行政がこういうことをします。細かい施策が入ってなくてもよいが、これがあると町の中の専門家や業者さんたちにはこのように伝わって、業者さんたちがこういうことをしてくれませんか、これがあることにより行政が市民にはシンポジウムを開くので、市民はこのように動けるとか、市民団体の方たちはこういうことをやっていく、といったように具体的に浸透していくような流れが書かれていたほうが良く、パンフレット、ホームページ、住教育のテキストを作るとかよりはもう少し動きがあるような絵やフローチャートがあると、こんなものあってもしょうがないのではというような声が少しでも減っていくと思います。

【委員】 建築関係の人が書かれていて、同業者に聞いてもこんなの知らない、11番ですが、マスタープランの意義の中で同業職能人へのヒアリングでも存在すら知らない専門職が多数でしたとあるが、市民に知らせるのも当然だと思うが、住宅というと最初に家を建てると思うので、できれば住宅に関わっている方のところにこういうマスタープランというものがあるということを先に勧めていったほうがいいのではと思います。そこから市民もマスタープランの存在を知ることができるから、建築関係の方たちにもマスタープランを知っていただくかなくてはいいのではと思った。しかもマスタープランを参考にせず、無視すると書かれているので、建築関係者がマスタープランはいいところ悪いところいろいろご意見はあると思うが、できれば積極的にマスタープランを活用しながら建築の現場でもいろいろやっていただいたほうが浸透の具合が早いのではと思いました。

【委員】 私自身住宅の業者であるが、確かに存じあげていません。今回計画に参加させていただいて、私はマスタープランの存在を知っているが、確かに業者間の中では全く知られていない。個々の都市計画だけでなく、浸透させていくことが課題だと思います。

【委員】 私も最初見たときに、9人だけなのかと思った。17件あるが9人だけで、11番、15番の方のように住宅マスタープランが全然認知されていない、行政と市民、民間業者の関係性が確かに難しいと思う。私は今日来ているが、友達や知人に言って

も皆知らない。実際パブコメもどのようなものかと思っていたが、市営住宅課のホームページに載せて9名だけが意見を述べています。専門的な方が多く、意外と主婦層や市民には伝わりにくく、興味もあまりないかもしれないが、よっぽど真剣に家を建てようとしている人以外はなかなか広めるのは難しい。今後どのようにこれを展開していくかが重要な課題だと感じました。

【委員】 やはり関心が無いというか、知られないというのがひとつ問題だと思う。このようなことをどのように皆さんにお知らせするか、こういったパブコメでもご意見いただくにも、皆さんに知らせる方法を検討する必要があるのではと思いました。9名の方のご意見は専門的な仕事、建築に携わっている方が多く、ここの中でお聞きしたいのは、7番にこれから市民協働推進条例ができてきているが、その中で豊田市、知立市、日進市のような行政と市民のまちづくりがうたってあるが、その情報について何か分かれば伺いたい。特別な市民と協働してやる等、ご存知であればお聞きしたいと思います。

【事務局】 住宅とは直接関係はないが、都市計画課で住民の方のご意見を参考にして皆で一緒に考えるというひとつのスタイルを構築しています。今回、景観指導は行政だけでなく皆さんの参画がなければ実現できないので、一緒にやっています。また、地区計画については、行政で決めた枠組みを超えた、地区の中でもう少し細かく決めていきたいと思いますというルールがありますので、条例ではありませんが、制度があるということで、まちづくりも行政と皆さんでやっていくことが重要だと考えています。

【委員】 1番2番の話、特に2番で思いましたが、このマスタープランはこの市営住宅や公営住宅に限って適用すべきであり、民間所有のものに適用すれば、市民や地元会社の自主性を無くすのではないかという意見があり、正直驚きました。マスタープラン自体は行政や職能の方、市民の方も含めた全体の目標というか、同じ方向を向きましょうというところを見据えて書いてあると思っていたが、このように一般住宅、市営住宅に関係なくある意味、思想的なところがあるのかかと思っていたが、このように2番のような意見があるということは、このマスタープランがそのように読めてしまうのかと驚いたので、そうではないというところをお返ししなくてはいけないのではないかと思います。決してこれは制約・規制ではないと私は思っているし、市もそのように思っていると思うので、そのあたりをはっきりしなくてはいけないのではないかと思います。

【事務局】 おっしゃるとおり制約・規制をするものではありません。1番のところでも、文章についてはもう少し考えてみたい。議題を一つ一つ答える姿勢をとっていきたい。

【委員長】 意見のあった周知の方法について、全体を見直すと、素案の改定になって間に合いません。もう一度パブリックコメントが必要となります。

## 住宅マスタープランについて

【委員長】 住宅マスタープラン案について説明を事務局よりお願いします。

【事務局】 資料NO.4とこれまでの委員意見についての対応箇所について、説明。

【委員】 第4回策定委員会の意見とは関係ないが、住宅マスタープランの資料について、1

ページの「住宅マスタープランの目的と性格」の前に、はじめにというように、何のために住宅マスタープランがあるのかといった文章を分かりやすく入れられないかと思った。1ページに書いてあることは行政的には確かにこのような背景で法律が変わったからなど書いてあるが市民にとってはどうでもいいことであり、先ほど住思想という話も出たが、一番強く言いたいのは、住宅というものが自分のものだから好きにしてもいいということではなく、後々売ったりできたり街のストックになるような、そのようなことも住民の方には考えてもらいたいし、業者の方には単に住宅が売ればいいというだけではなく、岡崎市が住みやすくなるように住宅を造って売ってもらいたい。そういうことを促していくためにこのマスタープランがあるということ、市民や町の人に伝える必要がある。行政の内部的には1ページにあるような、何年間でこうしなくてはならないとか、そうじゃないことが強く欲しい。進め方は全体的に後ろの方、7章のような最後の方に行き過ぎているので、市民へのメッセージはもっと前にあったほうがいいのではないかと。行政がやってくれるということではなく、行政から業者の方へとか、行政から市民への投げかけがあることを書くと良いと思います。前書きのほうがいいのか、1章1ページにあるのか。早い段階で専門家的な話で始めから入っているので、2ページの計画の位置づけも市民にとってはそんなに、行政内部の話であり、3番のいろいろな分析も確かに正しいが、市民にとって関係のないものではなくて、行政が勝手にやってくれるというものでなくて、住宅は自分のお金で払うので自分のものと思えるが、そうでない部分もあるので皆で考えなければならないと書いたほうが分かりやすいのではないかと、思った次第です。

【委員長】

まちとしての想いを付け加えるかどうかは、後で検討したいと思います。

【委員】

まったく先の意見と同じ意見を思っています。体裁からいうと、ここに市長さんからのあいさつが来ると思います。市長さんがどのように書かれるかは別にして、市長さんの名前と写真を書いて、(1ページ目が)重複されるのか、など色々あると思いますが、市民の方に向けて発信するのであればイラストや写真があれば親しみやすいと思います。一般的なパターンもあるので、ここは文章をつけたらと思います。岡崎市に住まう喜び、助け合って住まう喜び、自由に住まう喜び、いろいろあると思いますが、住まい方で人生が変わっていくので、そういう形で住宅に目を向けて欲しいということだけであれば、そんなに拘束しないと思う。ひとつここに文章が来ることで、読み手も分かり易くなるのではと思います。

なかなか性格が違うものを、このようなどころに入れるのは難しい。

子育て世代の委員さんが出ていただいたのは、とてもよかったと思う。縮んでいく、縮小していく都市をクリエイティブに再編集していくという役割なんだと思う。その中で、次世代を担う委員さん方の他の思いも少し入れていただければ、違うマスタープランになるのではないかと思います。特に住宅を欲しいと思うのはファミリー層、ビギナーズだと思う。そういう居を構えようという方にマスタープランを読んで頂きたいと思います。

【事務局】

ご意見を踏まえて、市長のあいさつ、前文をつけることも考えていきたいと思えます。前文については、委員に原稿を作っていただけると期待しております。

- 【委員】 ただ一般市民の方は分厚い冊子を見ることは少ないので、概要版等を作って、わかりやすい言葉でビジュアルにまとめたものなどをパンフレットとして作っていただいで説明をしていったほうがいいと思います。
- 【委員長】 住宅マスタープラン案については、この形でいかせていただいでよろしいでしょうか。周知の方法は、いろいろあると思いますが、都市マス等ですと概要版をつくりませんが、住マスでは予定はありますか。
- 【事務局】 概要版は作成します。

#### その他

- 【委員長】 その他意見がありますか。
- 【委員】 先ほどマスタープラン案についてのところですが、重点プロジェクトでいろいろ実施時期、スケジュールを書いていただいでおり、前回の状況から見て、かなり重点プロジェクトの中身は厚くしてくれているが、あまりにも後ろ倒し過ぎていると直感的に思った。ご説明の中では、最初の時期にはマスタープランを普及させていくことがまず重要ではあるが、いかんせん10年の計画で中期5～8年、後期8年～11年とそれくらい先の話だとちょっと我々にはピンとこない。マスタープランを実施することについていえば前倒しすることについては誰も否定しないし、市民の皆さんも否定しないと思うので、積極的に前倒しするような方向で市の中で働きかけていくなり、予算制度をちゃんとしていかないと、計画は作ったが成果がついてこないじゃないかというような状況が一番良くないことだと思うので、やはりやるべきことはやる、早めにやるということを姿勢として見せて欲しい。もう少し気持ちとしては「前期」「中期」「後期」の前のほうに二重線の矢印が入るべきだと思うが、いろんな事情で難しいということであるならば、そこは姿勢としては今後問われてくると思うのでやっていただきたいと思います。
- 【委員長】 事情はあると思いますが、事務局でも前倒しを検討してください。策定委員のみなさんには、これらのスケジュールの実行について、関心をもってチェックしていただきたい。

#### (5) その他

- 【委員長】 これで用意させていただいた議事は終わりました。その他はどうでしょうか。
- 【事務局】 少しよろしいでしょうか。前回、推進方策がさらっと過ぎてしまったので、もう一度意見をいただいてもよろしいでしょうか。問題は、推進方策の(4)(5)というところです。住宅を取得するといった大きな買い物をするときは、誰かに相談します。この初歩の初歩の形としてまちづくり情報センターを考えました。何か形式的でなく書かせていただきました。
- 別の話になりますが、みなさんには、住宅マスタープランのフォローもお願いしたいと考えています。
- 【委員】 ピントがずれるかもしれませんが、住宅政策の基本方向があり、「耐震化の促進等」

とありますが、この中の6番として重点プロジェクトとあり、これに対してのタイムスケジュールが載っているわけです。そうすると、基本方向の耐震化促進や住宅密集地区の整備等の基本方向の内容についてやってくれるのか、どこかへ行ってしまっている気がします。

【事務局】 重点プロジェクト自体が住宅マスタープランの本編ではないので、あくまでも基本目標に沿って基本方針を立て、それらに具体的な施策を展開していくというのが本旨であります。重点プロジェクトというのは、基本目標自体が「ある特化したもの」をいっているのではなく、住宅そのもの、住生活、住環境等全体的なことを言っている、色が出せないのです。この部分はやらなくてはいけない、計画自体は、この部分はやっていきましょう、といったような基本目標、基本方針を挙げていくことです。そうではなくて、重点プロジェクトでは、全体的にやっていくのではなく、岡崎市がこの課題に対しては別にやっていきましょうということでスケジュールを示させてもらっているわけで、基本目標・基本方針は、あくまでも岡崎市の目指すものを言っているわけです。重点プロジェクトは目立ってはいけませんが、それは岡崎市の住宅マスタープランの作り方としてそういうものをあげてきているのであり、本来的に計画そのものは基本目標、基本方針を挙げさせていただいている。第5章までが全てでございます。

【委員】 ちょっとピンとこない。いろいろと取り組みの仕方とか助成とかが書いてあるのですけれど、重点目標とかは、ある程度こうなるのか、というのがわかるんですけど、それと比べてすごく曖昧模糊というか、わざとそういう風に見えるのかなという気もするのだけれどピンとこない。

【事務局】 あくまでも岡崎市の基本・目指すもの、要は方向性を示すのが基本計画でありますので、おそらくここはこういう風なスケジュールである、ということは基本目標・基本方針のところでは書いていないです。ですから、そうすると何を一体力をいれてやっていくのかと考えているのかと言うと、重点プロジェクトで言うようなことは岡崎市の今の基本的な課題として挙げられているものを特化して3つあげてやっていこうという、力入れ具合を言っているわけです。じゃあ本来的には重点プロジェクトがなくても住宅マスタープランとしては第5章と第7章があるわけです。岡崎市の住宅政策の特色・事例としてこういうような変わったことに、この部分には特に力をいれていきますよというような意思表示みたいなものです。

【委員】 並びとしてとか何かあるかね。

【委員】 もうこれパプコメをかけたので大きなチェンジはできないとは思いますが、こういう風に出来上がってみるとですね、これなんかは特にそうですけども、普通重点プロジェクトという具体的な施策の中でピックアップして特に力点をおくという風に思いがちですね、しかもここを見ますと、ここまでの矢印の線は分かるんですけども、ここからここは次元が違うのに大きいものが出てくるという格好でこの辺がどうしてもスッキリしないという感覚を持たれるのは、私もものすごく納得します。事務局のご説明もわかるのですが、具体的な施策は岡崎市でなくても、今の同様な情勢、環境にあるなかで住宅マスタープランとか住宅まちづくり、まちの中で担っていく役割、目指していく方向性はわりと普遍的なもので、ずっと流れていく。特殊、岡崎に力点をいれるということでしょうね。それをこう矢印になったり具体

的に重点という形にするのと次元は違うものの、同じところで強弱をつけられるので、そういう風な流れなのか、というところで、なんか最後のほうでちょっと腑に落ちないという感じになるという構成になっていると思います。この重点プロジェクトという名称を変えたら、他に何か対案を出さなきゃいけないですしね。難しいところですね。まあ矢印というのはわたしもあまり、かえって余計にここから導きだされているという感じを受けます。こちらは普遍的な特徴、岡崎の個性的な課題という感じで何か書けたらいいのではないかと、思います。

【委員】 何かここだけ妙に具体的すぎちゃうんでしょうね。ワークショップの参考資料とかヒアリングで出た意見とかここだけ妙に生々しいですよ。違和感があるというか。今日もこういった打合せのために参考資料とかつけてくれたのかなと思いますけど、これはこのままいくわけですか？

【委員】 みなさんの言っていることはすごくよくわかるので、本の構成の仕方では何とかできないかなと。1つの案でこれが絶対ということではないし、あんまり普通のマスタープランがわからないのですが、住宅マスタープランを例えば第1部と第2部で分けるとか、第1部の中からこの6章をとってしまう、第2部ではまたその前書きがあってその住宅マスタープランの中から特に重点的に岡崎市ではやりたいのということなので第2部を7章の後につけるものにするというのもある一方で、このままでもいいんじゃないかという気もします。僕なんかはそんなに大丈夫なんですけど、もしかしたらそういう風に思われる方がいらっしゃるんだったら、そういう風なやり方もあるかな。あと、さっき他の委員の方もおっしゃられた24ページの次のこの矢印は本当にどうかと思いましたね、この具体的施策を全部まとめて重点プロジェクトみたいに思ってしまうかな、という感じで誤解を生むと思います。具体的施策の中からより抜かれたものだけ、こっち側に矢印が行くとか、ということなのかなと思います。

【委員】 最初、矢印をここからこう、こういうやつとこういうやつを持ってこいという風に書いてありました。

【委員】 そうですよ、それも厳密にどれとどれだけと決められないので、またそこで誤解を生むので、分けてしまう方が抽象的かなという中途半端なアイデアです。

【委員長】 ありがとうございます。その他はいかがですか。改めて策定委員として読むのと、改めてまとまって一市民として見るのは、また違うかもしれません。

【委員】 全然違うことですがいいですか。さきほど65ページの話をしてたので、思ったのですが、きっかけづくりの例でやたらなんかいろんなものを作成するんだなという感覚があったので。事業仕分けの時も、道德のものをこれはいらぬといつてやり玉にあがっていたのでいくつ作るんだろうと。マニュアルを作成して、まちづくりのパンフレットを作成して、住教育のテキストを2つ作成するというのは何かいっぱい作成するので概要版を作るならそれでいいかなと。作成してお渡しするだけで終わっちゃうという感覚を、これを見て思ったものですから。

【事務局】 概要版ではこのマスタープランの概要版であるので、実際に事業を進めようとしたときには個々にそれに必要なマニュアルが必要であったり、テキストが必要であったりということなので、そういう意味で分けてあるのですが、確かにこれもあれもという風に思われるかもしれませんが、目的が違うものである、これを一緒に

してしまうと、なかなかわかりにくいというがあるので、それなりの目的に沿ったものを考えていくということを思っています。

【委員】 確かにそのとおりだなと思うのですが、住教育の充実の中の小中学校と生涯教育というので、今って小中学校でそんな住教育ってやっていないんですよね。多分、そうですね。だからテキストの作成じゃなくてまず住教育をしてもらうというような感覚でもいいのかなと。何か作成が妙に目立つなという感覚があったので。

【委員】 これはただの例ですね。

【事務局】 もちろん、事業をやるときに当然予算化の話が出てくるので、そういうものが必要になるということで入れておけば、やっていくということです。

【委員】 要するにこれを見られて、こんなことやるのかという風に思われたのだと思いますが、これは例だから、例えばこういうものですよと出ただけではないのか。

【事務局】 やらないということでも、やるということでも言い切っているわけではないですけども、こういうものをやろうとしたときに、住教育をやる時に当然テキストというのは作っていかなくちゃならないだろうし、それは来年度からは住宅課になるんですけど、住宅課がやるのか教育委員会とタイアップしてやるのかそういうのも考えていかなくてははいけない。

【委員】 今みたいな誤解もあると思うので、そうではなくて、その思いが強いからこういう風にかかれたと思うんですけど、こういうことも含めて来年度以降にそれは検討するんですよ、という一文を書いたほうが良くて、ここの書かれるともうこれやることも決まっているという風に思われてしまうので、いらぬ誤解はないほうがいいかなと思ったことと、あと付け加えて言うのであったら、やはりこういうことの例の前に、やはり来年この戦略を検討するということをぜひ入れて欲しくて、こういうことよりも、どうやって浸透させていくのかという戦略と戦術がいると思うんですよね。私は個人的に住宅マスタープランが全市を挙げて盛り上がりなくともいいと思っているんですよ。小さく絞って必要な相手に必要なことだけをきちんと伝えるということがきちんとできれば、この本丸一冊幼稚園からおじいさんまで理解させる必要はなくて、小学校の子だったら、小学校の子に必要なことをきちんとわかってもらうことが必要でしょうし、住宅を販売する業者さんにはここはもうわかって欲しい、協力して欲しいという風に、そんなに表向きこの住宅マスタープランが目立たなくても、必要な人がきちんとこれを理解して一つ一つを実行していただいたら、結果として動くんじゃないかなという、そういうこともこの本の中ではそこまでの戦略がないので、それを今後やるんですよ、その中で例えばこのきっかけ作りも出てくるかもしれませんね、というそんな風な書き方がいいんじゃないかなと思った次第です。

【委員】 この 66 ページにある岡崎住まい・まちづくり情報センターの将来的な実現可能性はどの程度あるのか。

【事務局】 組織としては作っていきたいと考えている。センターというのは建物じゃないですが、場所が全くないわけではないので、当然そういうスペースというのは考えていかなくはいけない。

【委員】 もう作ることは決まりだということか。

【事務局】 やっていくという前提でいろんな準備をやっていきますけど、岡崎市単独ではない

ですから、事業者等々協力していただいたうえで岡崎市だけで発信できるものはないので、そういうことですすめてはいきます。実際に全体にできるかは今の段階では言えない事です。

【委員長】

はい、今日はあとそれを議論としていくつかありましたけれども、まず一番後ろから、岡崎市住まい・まちづくり情報センターにはここに書いていただいたように、設置を目指していくという方向をだけは市はお持ちではあると、しかし、市の外郭団体か民間なのか協力関係なのか、それは今後の課題として取り組んでいただければと思う。

きっかけづくりの例については、こんなに作るのかと、ということもありますが、もう少し注を加えて、1つの例ではあるけれど、1年度以降きちんと検討しますというような文章を付け加えるかどうか検討させていただきたいと思います。

また、あらぬ誤解を与えないということですが、期待は育みたい。同じ次元で先ほどの重点プロジェクト、これがお二人の先生からお話がありましたけれども、重点プロジェクトの重点の意味をもう少し書かなければいけないんじゃないかということで、いろいろ努力していただいています、やはりそういうご意見が出ましたので、重点プロジェクトについては1部・2部という提案もありますし、もう少しこの矢印をはずすということもありますが、それについては、基本的な大きな語句を変えないままでこの重点プロジェクト、特に24ページの後のこれは25ページというのでしょうか、これについては少し事務局とご相談させていただいてご一任いただけますでしょうか。ただ、この重点プロジェクトについては、この策定委員会、一番最初の委員会でみなさんご発言があったと思いますが、当然マスタープランというのはどこの自治体をとっても同じようなマスタープランにならざるを得ないという、今の日本の住宅問題にかかわる側面があります。ただ岡崎の住環境がどの程度であって、それを反映したなるべく岡崎らしいマスタープランを作ろうじゃないかという前提があって、事務局もそのことに十分配慮された結果だと思えます。先ほどのマスタープラン、パプコメにもありましたように岡崎に住もうという市民の意見もありまして、多分そういうことに今後様々なマスタープラン、都市計画であれ緑であれ、環境であれ、住宅であれ、それからそちらに色が染まっていくんじゃないかと私は期待を込めて思っております。そういう意味ではやはりここに取り上げさせていただく、ただ重点プロジェクトのみをやるのではないと、その位置づけを先ほどの“はじめに”というメッセージなのか、概要版なのか、この第6章の前なのか、その辺をもう少し付け加えさせていただくということで市民に投げかけたいと思います。よろしいでしょうか。

他の方針とか目標とかをやらないわけではない、これだけしかやらないという風に見られても困りますので、それについては、きっちと説明させていただく文章等を付加させていただきたいと思います。そういったかたちで対処させていただきますので、あとはご一任していただいて、次の最終のこの策定委員会でご確認をいただきたいということにさせていただきます。よろしいでしょうか。

はい、ありがとうございます。事務局、その他にはございますか。

【事務局】

内容についてはありませんけれども、スケジュールとして、今のことをまとめまして、最終の会議があります。これだけで本になるわけではありませぬので、この辺

にこんなものが付くとかそういうものをありますので、そういうものの確認の会議になってしまうかもしれませんが、最終回は、2月の月上旬頃を予定させていただきます。よろしくお願いします。

【委員長】 第6回の委員会は、今ご説明があったように2月上旬ということで、もうあと1年、年明けですぐに入ってしまいますが、今お願いをいたしました修正・加筆等を含めまして第6回最終的にマスタープランとしてご確認いただきたいと思います。なおその節は先ほどの“はじめに”とかあるいはそういう文言を加えたらどうかということですね、みなさんなりの意見を事務局になるべく早くお寄せいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

では予定の時間がそろそろ来ました。議事としては以上ですので、事務局にお返しさせていただきます。

【事務局】 以上をもちまして、第5回岡崎市住宅マスタープラン策定委員会を終了いたします。どうもありがとうございました。